



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長：大野順道 ■幹事：金子親房
■会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
■委員：中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第14回例会

平成25年10月9日(水) サンパレス福島

■会員/72名 ■出席/46名 ■出席率/63.89% ■メイクアップ/26名 ■修正/72名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 米山奨学生奨学金授与
- 4 新世代奉仕委員会セミナー報告
- 5 ゲストスピーチ
- 6 閉会点鐘

会員の広場

11月16(土)・17(日)に、いわきワシントンホテル椿山荘といわき明星大学児玉記念講堂にて、2013~2014の地区大会があります。地区指導者育成セミナーにRI第2750地区パストガバナーの市川伊三夫氏。記念講演には、日本の防衛・安全保障、国際テロ、国際紛争、東アジア情勢、中東情勢などを専門とする国際軍事ジャーナリストの黒井文太郎氏が講師でいらっしゃいます。是非ご参加下さい。

今日の一面記事

シリアでは、紛争の影響で3000以上の学校が破壊されてしまいました。子どもたちが少しでも紛争前と同じように学校に通えたり、勉強が続けられるように、「バック・トゥ・ラーニング(再び学ぼう)」や「バック・トゥ・スクール(学校へ戻ろう)」などのキャンペーンの準備を進めています。

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。今日は、職業奉仕月間です。本日は地区職業奉仕委員会委員長森惣兵衛様にスピーチをお願い致しました。快くお引き受け下さいましたこと深く感謝申し上げます。江 沛勲くんは米山奨学生として半年が過ぎましたので、レポートを提出していただきました。勉学に励まれ、ロータリー活動をより良く理解されますようお願いしています。先程午前10時に廣澤俊樹社会奉仕委員会委員長、金子親房幹事と共に福島市消防署に行きまして、秋の防火運動・子供防火パレードの協賛金をお渡ししてきました。

今年は、11月11日に行われます。皆様のご参加もよろしくお祈り致します。また昨日は、会場監督の会合にお招き頂きました。鈴木恒昭会場監督のお話を聞いて各委員会の活動が、ロータリー活動の基本である事を再確認することが

できました。感謝いたします。秋祭りの季節となりました。福島稲荷神社 秋の例大祭が、12日~14日行われます。私が子供の頃は、「お祭りが過ぎてから柿は食べなさい。」と言われていました。甘柿の北限は、福島か宮城県当たりで、それ以北は渋柿だけだそうです。

「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」正岡子規の俳句があります。法隆寺は聖徳太子が造られました。福島稲荷神社には全国でも数少ない聖徳太子神社があるようです。

すっかり秋の気配と言うのに、台風24号のせいでしょうか。昨日は気温30度を超えました。今日も28度は超えそうです。体調管理に気を付けましょう。

去る9月28日、日大郡山で地区新世代奉仕セミナーが開催されました。富田健三郎新世代委員会委員長に報告をお願い致しまして、御挨拶と致します。



◆米山奨学生奨学金授与◆

奨学生 江 沛勲 君



今月も奨学生の江 沛勲君へ大野会長より奨学金が手渡されました。

◆新世代奉仕委員会セミナー報告◆

富田 健三郎 新世代奉仕委員長



平成25年9月28日 日本大学工学部62号館 50周年記念館 大講堂にて開催された新世代奉仕委員会セミナーに行きまして参りました。

その中で講師の御手洗美

智子さん東京広尾ロータリークラブ会長などを務めていた方として彼女の話し、言いたかったことを私なりに6つにまとめてみました。

- ①新世代のために、我々ロータリーのために自分を磨くこと。
- ②人のためになること、少しでも出来る人になろう。
- ③すぐ行動すること。(善は急げ)
- ④失敗しても、もう一度再挑戦しよう。(失敗しなければ成功はない)
- ⑤人のつながり絆を構築することに汗を流し努力すること、そのような場所に常に顔を出すことをしよう。
- ⑥普通が一番、平凡が一番、平和がロータリーの最終目標。夢を持ち続けること、諦めないこと将来につながることを何かしよう。

最後になりますけど、御手洗さんの話とは別に印象に残った言葉がありました。

色々な意味ですべてに通じるかと思えます。こういうことを言いました「ロータリー、ロータリアンすべてあなたの心ひとつで決まります」以上ご清聴ありがとうございました。

◆ゲストスピーチ◆

森 惣兵衛 地区職業奉仕委員長



皆さん、こんにちは。今日は職業奉仕について少しお話したいと思います。

ロータリーにおける職業奉仕、職業奉仕とは愛情の世界の考え方をもって、打算の世界をコントロールしていこうという考え方、すなわち愛情を持って職業をコントロールして行こうという考え方。即ち世

のため人のための心をもって職業を営むこと。職業を現象とみる限りやっていることは同じだが、その考え方を「職業イコール奉仕」という考え方に変えるとロータリーの提唱する職業奉仕の世界に入ってくる。

ロータリーは、倫理運動の立場から、愛情の世界に生きる心、即ち世のため人のための心を持って職業を営んでいると、その結果として「信用」「信頼」という保護膜に包まれて、長期的に安定した利潤を着々と獲得する強靱な体質の企業を作り上げることができると説く。

なぜ、ロータリアンは職業奉仕を実践するために、例会に出席しなければならないのか。職業奉仕は、倫理運動であり、世のため人のために倫理を提唱していくためには、ロータリアン自身の心を磨かねばならない。毎回例会に出席し、卓話を聞き、異業種の良質な人達との交流を通じて、職業上の知識や人生万端の様々なことを教わる。その体験を積むことによって、初めてロータリーが身につく、その心をもって奉仕活動を実践していく。まさに「入りて学び、出でて奉仕せよ」。

ロータリアンが例会に出席して、少しでも何がしかの物を学び取ろうとする自己改善・自己研鑽のエネルギーがいわゆる「奉仕の理念」あるいは「奉仕の心」。この奉仕の心を自分の職場・職業生活の場に適用。その結果、企業管理が改善し、顧客サービスも充実し、企業ロスも減少し、おのずと適正利潤上昇。結局、職業奉仕とは個々のロータリアンが例会活動を通じて、自己改善・自己研鑽を遂げ、その自己改善のエネルギーを各人の職業や職場に適用するという奉仕である。これは恒常的に行われるべきもの。これが、金看板たる由縁。

クラブ活動の初期から職業奉仕をロータリー運動・奉仕活動の根幹に据えて、真正面から取り組んできたのはロータリーのみ。一般的奉仕概念が、1927年以降「職業奉仕」と名を改めた。職業奉仕の受益者は、ロータリアン自身。

今月・来月のプログラム

- 10月16日(水)移動例会 レストラン 風の谷
- 10月23日(水)東京麹町姉妹クラブ締結2周年記念例会(夜間例会)
- 10月30日(水)休会
- 11月6日(水)クラブフォーラム・「ロータリーの友」読みどころ 誕生者お祝い・第6回理事会
- 11月13日(水)休会

一編集後記一

素敵なお顔を会報に載せたいと思います。会報担当者が皆さまにカメラを向けた際は、ぜひレンズをのぞき込んでください。(かんの)